



和歌山県看護協会
かんどちゃん

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第170号

令和7年1月発行

CONTENTS

- 新年のご挨拶 2
- 理事会報告 2
- ナース章を受章して 3～4
- 地域連携のコーナー 5
- 私の病院の災害対策
（トピックス 2024） 6～7
- 施設だより 8
- リレーエッセイ 友達の輪 8
- 私の“Happy Time” 8
- 訪問看護ステーションだより ... 9
- 感染管理数珠つなぎ 9
- 全国禁煙アドバイザー育成講習会 ... 9
- 助産師職能委員会だより10
- ナースセンターだより ... 11～12
- プレゼント12



社会福祉法人 恩賜財団 済生会有田病院 ▶ <施設だより> (8ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangojokai.or.jp>

和歌山県看護協会会員数

令和6年12月20日現在 登録者数

会員総数	6,125名
名誉会員	2名
保健師	140名
助産師	219名
看護師	5,676名
准看護師	88名

新年のご挨拶

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 東 直子



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より皆さまには、本協会の事業推進に、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、元旦に能登半島地震という大きな災害にはじまり、日本各地で記録的な酷暑、台風や線状降水帯の発生により集中豪雨が相次ぎました。8月8日には、宮崎県で震度6弱の地震があり、初めて南海トラフ地震臨時情報が発表される等、自然現象の脅威や影響を度々感じながら過ごしました。いつ何が起きても不思議ではないという思いで、不測の事態への準備体制を高めながら日々の仕事に当たってまいりたいと改めて感じております。そして災害により、国内の各地で今なお避難生活を送られている皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日でも早く復興が進んでいくことを心から願っております。また、令和6年度から感染法・医療法の改正により、災害支援ナースの派遣が新たな仕組みで運用開始となりました。本会も災害や新興感染症の発生・蔓延時に的確に対応できる看護職員養成のための研修を実施し、行政と連携して派遣体制構築を図っているところです。

さて、2025年度を目標として推進されてきた社会保障改革、医療制度改革は、いよいよその到達年を迎えます。地域包括ケアシステムの深化、病院完結型医療から地域医療完結型医療への移行、多職種協働によるチーム医療の進展については、一層の浸透が図られつつあります。

さらに我が国は少子高齢化社会を迎え、生産者年齢人口が急減する2040年を見据え、働き方改革や健康寿命の延伸等への取り組みが進められています。高齢者のみではなくすべての世代にとって安心して生活できるよう看護提供の場は広がっており、医療と生活双方を支える看護職には確かな看護スキルと地域マネジメント能力等が求められ、看護職の役割拡大が一層重要となっております。しかし、それに対応する人材不足の状況は続いており、県内の医療・介護・教育の場で人材確保は喫緊の課題です。

このような状況のなか本協会は、県民すべての願いである住み慣れた地域でその人らしく、生き生きと安心して生活できるために、看護職が在宅医療を含めた看護の専門性を発揮でき、誇りをもって安心して働き続けられるように環境整備や処遇改善への取り組みは重要と考えます。ナースセンターを拠点として、行政はじめ関係団体との連携を図り、離職防止、就業促進に取り組んで参ります。また、少子高齢化による労働力の減少も見据え、看護においても看護業務の効率化を図るため、医療・介護のDXを推進して参ります。

組織拡大については、様々な社会要因も考えられますが、会員数は減少傾向にあります。看護職に求められる和歌山県看護協会として、日本看護協会と連携を図り今年度も活動して参りますので皆さまのご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆さまにとりまして健やかで実り多き一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和6年度 第5回理事会

日時 / 令和6年12月4日(水) 13:30～15:30

場所 / 看護研修センター 大ホール

I. 【決議事項】

- (1) 令和7年度の重点事業(案)について
- (2) 令和7年度の事業計画(案)について
- (3) 令和7年度研修一覧概要(案)について
- (4) その他

II. 【報告事項】

- (1) 日本看護協会理事会報告
- (2) 日本看護協会主催会議報告
- (3) 県内関連団体会議参加報告
- (4) 和歌山県看護協会通常総会の開催について
- (5) 看護協会長表彰候補者の推薦について
- (6) 会員数について
- (7) その他 ・地区支部に関する書類の提出について
・次年度日本看護協会会議等日程

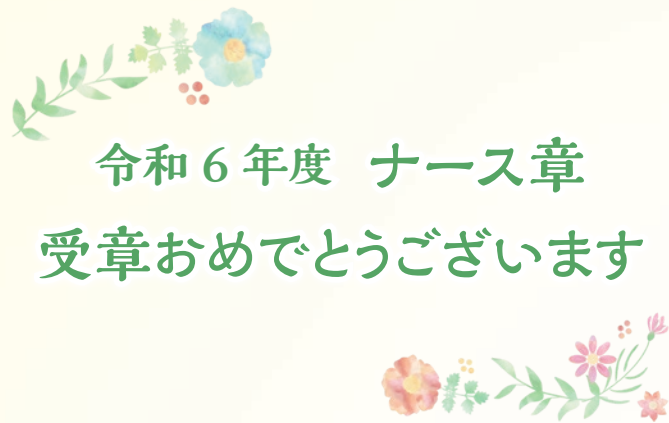
理事会
報告



新宮市立医療センター 栗原 久美子

この度は、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。長年看護師として働き続けることができ、更にごのような栄えある章を賜ることができましたのも、ひとえに、ご推挙下さいました関係各位の方々をはじめ、上司、同僚、後輩の皆様方のご尽力、ご支援の賜と改めて深く感謝致します。

近年、医療と介護を取り巻く環境に地域格差がうまれるなか、住み慣れた地域で住民が安心して持続可能な医療・介護が受けられる環境を整えることが期待されております。その期待に応えるため、職場で役割を引き受け、責任を果たすことが専門職としての私の務めであると強く感じております。今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



令和6年度 ナース章 受章おめでとうございます

橋本市子育て世代包括支援センター 坂口 淑子

このたびは、『ナース賞』受賞の栄誉を賜り、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。また、ご推薦下さいました関係者の皆様、長きに渡りご指導、ご支援下さった先輩、同僚の皆さんに心から感謝申し上げます。

市町村の保健師として勤務して37年。昭和、平成、令和に跨る保健師活動を振り返ると、実に様々な社会情勢の変化があり、求められる業務も複雑多岐に渡るようになってきました。『みる・つなぐ・動かす』を実践するため、関係課・関係機関の方々と共に作り上げてきた様々なシステムや事業を懐かしく思います。これからも、後輩たちと共に、微力ではありますが、地域に根差した活動に関わっていきたく思います。

和歌山県立医科大学 柳瀬 安芸

この度、栄えある「和歌山県ナース章」を頂戴いたしました。ご推薦くださいました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。これまでご指導いただいた諸先輩方をはじめ、周りの方々に支えられて今日までナースの仕事の続けることができました。今回の受章は皆様のおかげと深く感謝しております。

「山は山を必要としない。しかし、人は人を必要とする」というスペインのことわざがあります。医療の高度化・複雑化、また患者ニーズの多様化などを背景に、チーム医療や看護の役割拡大が求められている中で、これからも人とのつながりを大切に、社会に貢献できるよう精進して参ります。

どうか今後とも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

御坊保健所 内田 史

栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。これまで御指導いただいた先輩や同僚の方々、また地域で活動を共にした関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

これまで、県保健師として様々な部署で保健に関する業務に携わりました。そして、多くの住民の方々、支援者の方々と出会い、学び、楽しく貴重な時間を共有させていただきました。当保健所では、例年地域の住民を対象に、健康づくりに関する「笑いの大学」を開催しています。今後も、誰もが笑って過ごせるような社会を目指し、仲間とともに健康課題に取り組んでいきたいと思っています。今後とも御指導よろしく申し上げます。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 松岡 淑子

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。これまでご指導、ご支援下さいました皆様方に心より感謝申し上げます。

諸先輩方を追いかけて、一心に駆け抜けてきた看護人生でした。たくさんのお出会いと経験を積み、導き支えてくれた上司、同僚、後輩、家族、そして患者さんに感謝しかありません。多くの学びにより、安全で安心できる看護の提供を心がけ、誇りをもって看護を実践するとともに、管理者として後進の育成にかかわるまでになりました。

時代の変遷とともに、看護を取り巻く環境も変わりつつありますが、看護の発展に貢献できますよう一層精進を重ねて参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

日本赤十字社和歌山医療センター 東田 裕子

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様、ご指導、ご支援いただいた方々に心からお礼申し上げます。

約40年前、人の役に立つと思いき看護師になりましたが、実際は患者さんや同僚、先輩方から多くのことを学び、育てていただいた看護師人生でした。また専任教員として看護基礎教育に携われたことは、看護管理者として人材育成に関わるうえで大変貴重な経験となりました。これからは、ますます看護職に対する社会の期待が大きくなると思います。地域医療の中核病院としての使命を果たせるべく、勤めていきたいと思ひます。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

和歌山県立高等看護学院 岡田 樹美

この度は栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。看護職として約38年、前半は臨床現場で、後半は教育現場で、常に『自分の問い』に向き合った日々でした。

看護の現場、教育の現場は、社会とともに変化してきました。現在、将来に向け看護職養成・確保は必要な課題となっています。学生とともに長く過ごした経験から思うのは、看護職はもちろんのこと、全ての職業は素晴らしく、必要なものである。多くの選択肢がある中から、夢と希望をもって、若い世代が看護職を選択していくものであって欲しいということです。『看護とは何か』、学生と共に最後までその問いに向き合い、与えられた役割を全うしてまいります。

公立那賀病院 梅田 智子

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄に存じます。

ご推薦くださいました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。また、私が看護師として今日まで勤めることができましたのも、温かくご指導いただきました先輩方をはじめ同僚、後輩、家族の支えのおかげであると感謝しております。

著しく変わっていく医療の中で、看護職を取り巻く環境も厳しいですがその中でも「看護が楽しい、看護はやりがいがある」と実感できる職場づくりに精進してまいります。また患者さん・ご家族さんが安心して療養できる病院づくりにさらに努力いたします。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

和歌山県立医科大学附属病院 木村 和美

この度は、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。これまでご指導いただきました諸先輩方、同僚、友人に感謝いたします。

医大病院で看護学生として実習する中で看護師としての自覚が芽生え、医大病院に入職、尊敬する看護師長、憧れの先輩、何でも話合える同僚に恵まれ、大波小波はありながらも看護師として成長し続けることができました。患者さんのために何が最適かを考え続け、看護師長になってからは、患者さんとスタッフのためにどうすればよいのかを考え、可能な限り実践して参りました。看護が好き、仕事が好きと大きな声で叫べます。

今後も研鑽を重ね努力して参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新宮保健所 西村 尚美

この度は、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様、これまでご指導くださいました諸先輩方や同僚の皆様に心からお礼申し上げます。

昭和62年に和歌山県に入職後、新宮・東牟婁地域一筋の保健師人生でした。若い頃は、県職員になったのだから地元以外でも働きたいと願った時期もありましたが、様々な地域の皆様や関係機関の方々に出会い、ご指導いただき、今はこの地域で育てていただいたことにとっても感謝しております。

これからも人とのつながりを感じながら活動していきたいと思ひますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

和歌山県こころの医療センター 北垣 郁子

この度、県ナース章という栄えある章をいただき身に余る光栄に存じます。ご推薦くださった関係者の皆様、これまで教養育て導いてくださった皆様に心から感謝いたします。

知事から章状を拝受するとき優しいお顔で微笑みかけていただき、この仕事を続けてきてよかったなあと心からじわじわと幸福感がわいてきました。また、この章をいただいたことを一緒に喜んでくれる仲間にも恵まれこんなありがたい幸せなことはありません。

今後も微力ではありますが、たくさんの方々との出会いを大切に感謝の気持ちを忘れずに精進して参ります。引き続きご指導ご鞭撻いただけますようどうぞよろしくお願い致します。

眠ること、
楽しみませんか。



東洋羽毛関西販売株式会社

〒640-8324 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2

和歌山営業所 0120-327-766



東洋羽毛について 詳しくはこちらをご覧ください

医療法人裕紫会 中谷病院

地域医療福祉連携室 北野 美江子



当院は和歌山市東部にある半世紀にわたり地域医療に携わっている 195 床の地域密着型協力病院です。

病床は、急性期一般病棟 42 床・回復期リハビリテーション病棟 35 床、障害者施設等一般病棟 58 床・地域包括ケア病棟 18 床・医療療養病棟 42 床の 5 つの役割を果たしております。

「地域医療福祉連携室」は、平成 17 年に設立されてから 20 年の月日が経ちました。

設立当初、「地域医療福祉連携室」というネーミングに対し「長いかな～!？」という思いもありましたが、「福祉」を入れたのには 私たちの思いがあったからです。医療の中に生活の視点を入れ、私たち自身もその視点を大事にするという思いと、私たちの部署のことを患者様に少しでもわかりやすく理解してもらいたいという願いです。

現在当院の「地域医療福祉連携室」は MSW2 名、看護師 3 名、事務 3 名で構成され、それぞれの視点から関わる業務内容として、大きくは前方支援と後方支援に分かれています。

【前方支援業務】

- ・ 地域の医療機関からの入院・転院相談
- ・ 地域医療連携・病床管理、病床状況の調整・情報把握
- ・ 受診・検査予約の調整や手配
- ・ 外部の医療機関から紹介があった患者さまの受診報告

【後方支援業務】

- ・ 退院へ向けた支援（退院後に必要な医療・介護の制度の紹介、介護施設への入所、他の医療機関へ情報提供、手続き）
- ・ 療養中の心理的・社会的問題の解決・調整支援
- ・ 他の医療機関への受診調整
- ・ 経済的問題の解決や調整援助

私たち入退院支援看護師には、退院後も患者さまやご家族さまが安心して生活できるように、院内の多職種スタッフや、他院、行政、ケアマネジャー、介護施設等と連携を図る役割があります。

地域包括ケアシステムの一翼を担い、「住み慣れた地域や自宅で自分らしく生活したい」と希望する人が、在宅で自立した生活を続けられるように地域ぐるみで支える体制の構築を進めています。その流れの中で、医療連携の役割はさらに広がり、ますます重要度が高まっている事が明白です。

地域の状況を背景に、自施設の役割を明確にし、医療・介護連携を大切に様々な環境の変化に適応しながら、成長し続ける組織でありたいと考えます。

定期的
に
マナブルに関する
ご質問にお答えします!!



まなぶるにゅーす vol. 2

上司から研修を申し込んだと聞いたのに、何も通知がこないのですが…

マナブルから研修にお申し込みいただくと、受講の可否や研修 1 日前のお知らせ等、該当研修にまつわる様々なお知らせがメールで届きます。届かない場合は以下の原因が考えられますので、チェックしてみてください。

- ① マナブルへの個人登録が済んでいない → 個人登録がないと、メールでの通知も zoom 研修も受講できません
- ② 迷惑メールフォルダや普段チェックしないメールフォルダにメールが振り分けられている

今年度は、このようなお問い合わせが多く、施設申し込み→受講料個人支払いの場合に通知がこないため受講料の支払いが遅れるケース、また研修日を間違えるケースもありました。

そこで!! 令和 7 年 4 月より
研修申し込み方法について
変更します

- ① 研修申し込みには、看護協会会員・非会員に関わらず、必ず事前に個人登録が必要となります
- ② 個人登録の際は、必ず所属施設を登録してください→登録がないと施設申し込みはできません



ご不明な点があればいつでも看護協会へお問い合わせください

私の病院の災害対策



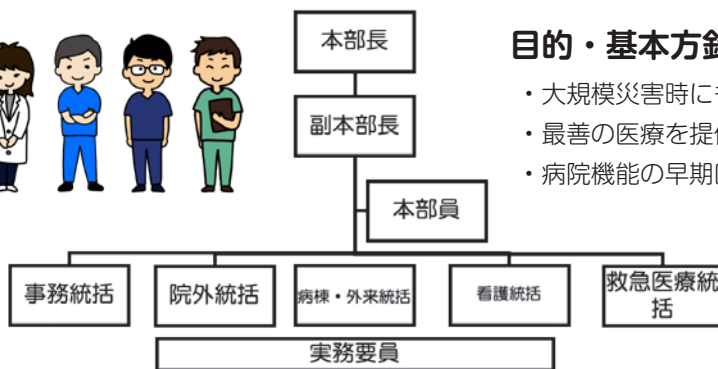
和歌山県立医科大学附属病院 看護部 災害対策委員会

有北 純・長谷川 佳代子

はじめに

和歌山県立医科大学附属病院は、和歌山県の基幹病院として多くの使命を持っています。しかし、基幹災害拠点病院でありながら、病院の目の前が海という立地で、現在ある防波堤は南海トラフ巨大地震の津波に耐えられないことは明らかです。そのため、有事への備えとしてさまざまな災害対策を実施しています。

◆ BCP に示される目的・基本方針



目的・基本方針

- ・大規模災害時にも基幹災害拠点病院としての機能を維持
- ・最善の医療を提供し、一人でも多くの人命を救助
- ・病院機能の早期回復を図り、地域社会の復興に貢献

◆ 連年実施の情報伝達訓練

～災害時に必要な医療リソースの迅速な把握のために～

災害時には傷病者が多数発生するため、医療需要が急増し、病院自体も被害を受けるため、人員・食料・水・医薬品・医薬材料等の医療資源は制約を受けることになります。限られた人的・物的資源を有効活用するためには、病室の空床状況・患者さん及び職員の負傷状況・施設におけるライフラインの状況といった情報の把握が必要となります。

自施設では、有事を想定したさまざまな災害対策訓練を実施しています。災害時に状況の迅速な把握を目的とした【情報伝達訓練】を連年実施しています。訓練の内容は緊急連絡網への連絡で全ての部署に必要な情報が滞りなく伝達できるか実際の状況を想定したシナリオを設定し、訓練します。災害対策マニュアル内に整備されているチェックリストに部署の稼働状況・被災状況を記載し、災害対策本部宛てに FAX・直接持参等、伝達手段のシミュレーションも行います。

病院への参集が可能な職員の情報もチェックリストの第二報で災害対策本部に提出し、病院機能の維持・災害医療体制を支えます。訓練は、回数を重ねるごとに精度があがっており、全職員が対応できるように今後も継続します。



情報伝達訓練時の災害対策本部の様子

◆ さまざまな災害対策訓練

津波襲来による浸水を想定した訓練の実施

外来部門において、平日、多数の外来患者さんが院内にいらっしゃる時間帯に「南海トラフ巨大地震が発生し、県内に大津波警報の発令」を想定した訓練を実施しました。

津波が襲来する1時間以内に浸水が想定される病院棟1階の各部署において、患者さんの避難誘導・避難に必要な人員・必要な医療機器の持ち出し等の行動を確認しました。訓練は準備・実施・評価を含め計3回行い、避難誘導は外来稼働時の患者さんの実際を想定し、搬送の優先順位・搬送に使用する経路（非常階段）・避難場所を参加者全員で共通認識し実施しました。

担送患者はエアストレッチャーを活用し、実際の経路で搬送しました。訓練の結果、まず避難経路の安全確認が重要であり、限られた人員で安全で迅速に避難するための課題が明らかとなりました。避難経路の選択、ライトやホイッスル、非常ドアのストッパー等の必要物品、部署外の人員の応援配置について対策を講じました。これら一連の訓練から、患者さんを安全に搬送するために、全看護職員を対象にエアストレッチャーの使用に関する研修を実施しました。

今後は夜間の地震災害を想定した訓練を実施する予定です。



多職種合同の訓練の様子



エアストレッチャーによる搬送訓練

新規採用者を対象とした避難訓練・消火訓練の実施

毎年、新規採用者を対象に避難経路の確認・消火器の使用方法等の訓練を実施しています。東西の非常階段を使用し、1階までの避難経路を確認します。併せて、火災に備えた消火訓練を実施します。施設管理課から災害に関連する施設の設備（避難経路・消火栓・スプリンクラー・通報の方法等）について説明を受け、火災が拡大しないための初期消火の必要性や消火栓で対応できる火災について理解し、備えています。



消火器を用いた消火訓練



施設管理課職員による消火栓の説明

◆ セカンドアクションカードの運用に向けて

院内停電を経験し、より実践に即した訓練の必要性を実感しました。これまではファーストアクションカードを用いた訓練でしたが、発災後の時間経過に伴う状況変化を具体的に理解し、行動しなければなりません。そこで、災害時に思考の切り替えを行い、災害対応が行えるように【セカンドアクションカード】を作成し、活用するための取り組みを始めています。



おわりに

南海トラフ巨大地震は30年以内に70～80%の確率で発生すると言われています。明日発生しても対応できるよう全職員の危機感を高め、あらゆる可能性を想定した訓練を継続し、地震災害時に皆様の安全を守るよう努めます。

施設だより

社会福祉法人 恩賜財団 済生会有田病院

看護部長 前川 孝子



済生会は、明治天皇が「施薬救療によって生活困窮者を救済しよう」と明治44年（1911年）に設立されました。以来110年以上の活動の中で「施薬救療の精神」という済生会の理念の下、①生活困窮者を**済**（すく）う、②医療で地域の**生**（命）を守る、③医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供という三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約66,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

有田病院は、昭和22年7月に湯浅町隔離病舎を借り受け開設されました。昭和51年には結核病棟を廃止し、2度の移転を経て平成元年に現在地に新築移転しました。病院の周囲は360度みかん畑に囲まれています。春にはみかんの花の香りが湯浅湾の潮風によって届き、秋から冬の収穫時期には病院の周囲がみかん色に変化するような自然に囲まれた環境です。平成28年からは、病院と施設を総称し済生会有田医療福祉センターとなりました。中核となる病院の他に介護老人保健施設ライフケア有田・

特別養護老人ホーム潮光園・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所から構成されるケアミックス型医療福祉施設です。

病院は、16診療科・急性期病床104床・回復期リハビリテーション病床40床・地域包括ケア病床40床です。

「私達は、心のこもった良質の医療・福祉サービスを実践し地域に貢献します」の病院理念に基づき、看護部は「自立の援助・安楽の援助・在宅への継続」を看護ケア方針とし地域の皆様に貢献できるよう尽力しています。住み慣れた地域でできる限り最後まで暮らし続けられるよう、入退院支援・在宅復帰支援を他部門と連携しながら取り組んでいます。コロナ禍で中止していた在宅で介護をされているご家族をはじめ、地域の方々に向けた研修会を再開しました。

今後も地域の皆様のニーズにお応えできるような組織であり続けられるよう職員一同頑張っていきます。

リレーエッセイ 友達の

輪

Vol.78



和歌山県立医科大学 保健看護学部 矢出 装子

実践から教育の現場に移り、自分の役割など葛藤しながら早くも4年が経ちました。そんな中、在宅看護の魅力が学生と共に学べることは大変楽しい時間となっております。本学では、新卒から訪問看護ステーションへ就職する学生も年に1～2名おります。就職先で新卒訪問看護師として働く凛々しい姿を拝見し、嬉しく励まされている日々です。学生から学ぶ姿勢、共に成長する姿勢を大切に、若さとパワーを得て日々精進していきます！

次回は、訪問看護ステーションみかんの
津田 智巳 様をご紹介します。

私の “Happy Time”

医療法人 宮本会 紀の川病院 道上 真輝

私の‘Happy Time’は、友達と一緒にオンラインでテレビゲームをすることです。

少し前まではパンデミックの影響で外出しづらくなってしまったこともあり、外で人との関わりが減少した事は記憶に新しいかと思います。しかし、オンラインゲームにおいては友達と時間さえあれば家にいながらも関わりをもてました。ゲーム内での共通の目的をクリアすることを目標にし、それを達成できると友達と喜びを分かち合え、関係も深まると思います。

※ 前号で道上様紹介記事の「所属」が間違っていました。
正しくは上記の通りです。お詫びして訂正いたします。

次回は、済生会和歌山病院
武田 治子 様の“Happy Time”です。



訪問看護
ステーション
だより

一般社団法人 幹 幹在宅看護センター

代表理事 丸山 美智子 管理者 中谷 美保子

幹在宅看護センターは2018年3月に開所して7年目になりました。0歳から100歳以上の利用者さんを対象に、開所当初と変わらず「笑顔の瞬間」を理念に、スタッフ一丸となって丁寧に心のこもった看護を実践しています。

毎週、多職種全員でのカンファレンスの実施、定期的な研修で看護の質を大切にしています。

訪問看護で様々な病気や障害のある方々と関わる中で、利用者さんやご家族にその都度必要なサービスを提供できないかと、少しずつ事業が始まっていきました。

2023年には難病の子どもと家族を支える拠点(全国30か所)として選んでいただき、幹らんどができました。医療、介護、福祉、子育て、生活の困りごとなどを相談できる場所、地域の交流の場となれるよう、秋祭りや季節ごとのイベント、研修など地域の方も参加できるように取り組んでいます。

Caféではモーニングやランチ以外にも楽しいイベントや研修があります。

近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



感染管理数珠つなぎ

公立那賀病院 看護部

感染管理認定看護師 看護師長 永崎 昌枝

当院のICT(院内感染対策チーム)/AST(抗菌薬適正使用支援チーム)活動は、専門資格を取得した医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師を中心に、看護部の各部署から選出されたICTリンクナーズの協力を得て、奮闘してきました。

そのような中、2023年度からICTリンク会が発足され、看護師だけでなく、医療技術部のメンバーの協力も得ることができるようになりました。

ICTリンクの活動は、周知活動だけではなく、各部署で「感染対策チェックリスト」を用いて「手指衛生」「個

人防護具」「環境整備」の実施状況をチェックし、実施率の向上に向けて取り組み、そしてICTリンクナーズの主導のもと、病棟ラウンドや勉強会を実施しています。

ICTリンクの活動によって、院内感染対策は強化されました。ICTにとっては、最強なパートナーと出会うことができました。今後もICT/ASTとICTリンクメンバーと連携をはかり、院内感染対策活動の推進に努めていきます。

次回号に紹介させていただく方は、
医療法人 南労会 紀和病院 林 ミユキ様です

「全国禁煙アドバイザー育成講習会 第301回(埼玉・録画放映)」を受講して

社会経済福祉委員会 伊東 智子

10月19日に「全国禁煙アドバイザー育成講習会」を受講しました。3題の演題があり京都大学大学院医学研究科、高橋裕子氏からは「禁煙支援と禁煙推進の必要知識について」を学びました。禁煙外来が発足して約30年。日本の喫煙率は17%と、ここ10年間で有意に減少しています。禁煙推進に立ちはだかるのは「依存症」であり、全ての喫煙者に対して薬物療法を説明するのは医療者の責務であると述べられていました。

大阪商業大学、東山明子氏からは「楽しく楽な禁煙支援のためのリラクゼーションスキル」という演題で具体的な方法を学びました。スマイル法・呼吸法・筋弛緩法・自律訓練法・瞑想があり、良いパフォーマンスの自分を思い浮かべ、禁煙して談笑している自分の姿を思い浮かべられるように勤めていく必要があると述べられていました。

さいたま私立病院禁煙外来、館野博喜氏からの講義では「KKEに学ぶ禁煙支援のエビデンス」禁煙治療に用いられる薬剤についての説明がありました。バレニクリンとはニコチンを含まない経口の禁煙補助薬で、禁煙による離脱症状や喫煙に対する満足感を軽減する効果が期待できると説明がありました。私たち医療者は、責めず、焦らず、あきらめずをスローガンに禁煙指導ではなく、禁煙支援に取り組む必要があると学びました。

～ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援 ～

◆ 産後ケアの運用を開始して

独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院 大川 知子



産後ケアのお部屋

少子化が進む社会において、若年出産や高齢出産、孤立した中での妊娠・出産・育児のためサポートを必要としている母子は増加しています。出産後は、ホルモンバランスの変化に加え、授乳や育児に伴う心身のストレスや疲労が重なりやすい状況です。また、短い入院期間では、十分に授乳や育児の技術を獲得できず、不安を抱えたまま退院することもあります。加えて、コロナ感染症の流行以降、面会制限は続いており父親への育児技術の獲得支援も十分とは言えない状況です。これらの状況を踏まえ出産後の母子が安心して育児ができるよう今年の7月より産後ケアの運用をはじめました。

現在、当院には5名のアドバンス助産師が在籍しており、個別性に応じた支援の提供を行っています。実際に産後ケアを利用された方からは、母子同室で過ごしながらか授乳支援や父親への育児指導をしてもらいとても良かった、父親からも沐浴や抱っここの練習ができ退院してから安心して育児に参加できると好評でした。現在は和歌山市との提携のみですが、和歌山市以外の在住の方からも利用を望む声が多いため、今後は提携先の拡大を検討しています。

妊娠から出産、育児へと切れ目なく、安心して産み育てることを支援できるようアドバンス助産師の育成にも力を入れ、母子やその家族に助産師のケアを届けたいと考えています。

◆ 2週間健診を始めました

紀南病院 寺本 りか



当院では産後ケアの一環として、特定妊婦を対象に小児科医師による2週間健診と助産師の面談により母親の不安等に対応しています。しかし、一ヵ月健診時のエジンバラ産後うつ病質問票が高得点となる母親は増加しており、全ての母親が安心して子育てできる支援体制はとれていませんでした。家族形態は核家族化し、両親や親族から距離的に離れたところでの妊娠・出産は稀ではなく、さらに社会心理的背景から親子関係に様々な事情を抱え、親を頼れない等、支援が不足している妊産婦は少なくありません。周産期医療において、妊産婦のメンタルヘルスケア対策の充実として産婦健康診査が推進されています。

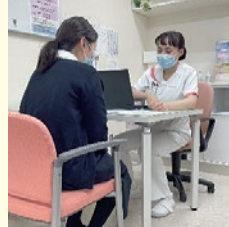
妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供するため、今年7月から産後2週間健診を開始しました。担当助産師は助産師外来担当者15名（内アドバンス助産師8名）。対象は初産婦・希望された経産婦・特定妊婦とし、母親の健康状態や授乳状況を観察しながら、1人1時間、ゆっくりと話を傾聴できる環境を整えました。母親からは、「授乳や育児の不安が軽減した」「一人目の出産の時にも2週間健診があればよかった」などの声が聞かれました。担当助産師からは「母親から前向きな言葉が聞かれ実施してよかった」と助産師の専門性が発揮できる機会となっており、モチベーションの向上に繋がると考えます。

今後は全ての母親を対象に支援体制を整備すること、当院助産師の助産実践能力の向上と対象個々の状況に応じたケアを提供することを課題に取り組んでいきたいと考えています。

今回は職能委員が所属している施設を紹介しましたが、他施設の取り組み状況も紹介していきたいと考えております。切れ目のない母子への支援充実のため、ご協力よろしくお願いいたします。

◆ ひだか病院の助産外来を紹介します

ひだか病院 滝口 ひとみ



当院の助産外来は2009年4月、妊娠24週・34週の妊婦を対象に開設しました。“家庭的な環境でお話を聞き支援する”という事をコンセプトに、自分たちで空いていた診察室に畳を敷き物品を準備し、妊婦健診を行いました。

15年が経ち診療棟の新設に伴い、助産外来の診察室もリニューアルしました。午前中は妊娠初期・後期そして特定妊婦等の保健指導を行い、午後からは新たに妊娠37週の妊婦も対象とし、妊婦健診と個別性のある保健指導を行っています。

担当助産師は経験年数5年以上とし、現在は9名の助産師が交替制で行っています。助産外来の担当助産師は病棟所属となりますが、担当日は病棟で患者を受け持つことなく保健指導と妊婦健診に徹します。これは“外来妊産婦へのケアが片手間とならない”“真摯に向き合い最善のケアができる”という助産外来開設時からの方針です。対象者にとって、ベストな出産を目指す為には妊娠期からの関りが必要です。そして出産後の生活が円滑に営まれるためには、助産師の寄り添ったケアが一つの手立てになります。そのことを自覚し、日高地域の母子とご家族が幸せに過ごせるよう、ひだか病院助産師はこれからも活動していく所存です。そして若い助産師たちが働きがいを感じ、実践能力を高められる場となるよう頑張っていきたいと思っております。

助産師研修会・職能集会・交流会について

第1回研修会

CLoCMiP レベルⅢ認証研修

8/24（土）に開催しました。

「妊娠と糖尿病」 講師：橋本市民病院 高水佳代氏 参加人数 43名
「新生児フィジカルアセスメント」

講師：和歌山県立医科大学附属病院 杉本卓也氏 参加人数 34名

事例を交え、観察のポイントや具体的な指導など分かりやすくご講義していただき、新たな知見も得られたと好評でした。

助産師職能集会・新人助産師交流会

11/30（土）に開催しました。

「周産期の保健指導に役立つ感染対策」

橋本市民病院 柘田美加子氏 参加人数 31名

「マタニティヨガ」 和歌山日赤医療センター 松田沙依氏

参加人数 22名（助産師学生3名）

助産師職能集会では、感染症の基本的な知識をはじめ、周産期に纏わる感染症トピックスや、感染予防に対する保健指導の重要性、助産師の役割など、多くの学びが得られた研修となりました。

新人助産師交流会ではマタニティヨガを体験した後、「専門性について語ろう」をテーマに、看護・助産業務の実践状況やキャリアパス、目指す助産師像について語り、交流を図ることができました。



❖ 第2回研修会（1/25）は、①「周産期のメンタルヘルス」、②「周産期領域のグリーフケア」をテーマに開催予定です。研修①は、ワークショップ（画材を用いた作業）を取り入れた研修となっています（会場開催のみです）。皆様のご参加をお待ちしております！

ナースセンターだより

あけましておめでとうございます。いよいよ2025年が始まります。2025年問題に対応するため、2015年より看護職の方々に離職時等の届出制度へのご登録をお願いして参りました。医療・福祉・学校現場などフルタイムから単発まで多様な求人があります。あらためて届出制度「とどけるん」へのご登録よろしくお願ひ致します。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

実施報告

地域に必要な看護職確保推進事業 (日本看護協会受託事業)

県立なぎ看護学校、新宮市立医療センター、県医務課と連携し、新宮・東牟婁地区の小学校5・6年生23名と保護者22名を対象にジュニアナースングスクールを開催しました。児童たちは、さまざまな体験後、看護学校長より修了証が授与されました。



記念撮影



一次救命処置体験



授業体験



採血体験

参加児童の声 (原文)

- ・知らないことが知れて勉強になった。
- ・看護師になるための1つとして学習でき、とてもこころえいです。
- ・もっと看護師の仕事をしりたくなりました。
- ・また参加したいと思った。

保護者の声

- ・とても勉強になって良かったです。
- ・将来の自分の仕事を考える時に参考にしてくれたらと思う。



看護補助者の確保・定着推進事業 (日本看護協会受託事業)



於：ハローワーク和歌山

ハローワーク2カ所で開催した看護補助者の仕事を知るセミナー(ハローワークと共催)に離職中の方17名が参加されました。白浜はまゆう病院、和歌山生協病院の現役看護補助者の方に講話、演習をしていただきました。参加者より「病院では資格がいらないので、どこでも勤務できることを知れました。」「患者さんひとりひとり病状が違うので適切に対応するのは大変なお仕事なのだろうな...」と思いました。車いす、とろみのお茶と具体的な説明ありがとうございました。」等の感想をいただきました。



於：ハローワーク田辺

次回のセミナー内容

「看護補助者の仕事について」、車椅子操作、食事介助など

令和7年1月15日(水) **ハローワーク田辺** 14:00～15:00
申込受付電話番号：0739-22-2626

令和7年1月27日(月) **ハローワーク和歌山** 14:00～15:00
申込受付電話番号：073-424-9772

お知り合いの方に、ご周知ください。

今後のご案内



スタンプラリーしながら、
情報収集できます。

看護職員 就職説明会

日時	場所
令和7年3月6日(木) 13:30～15:30	県立高等看護学院 紀の川市西野山505-1 TEL(0736) 75-6280
令和7年3月12日(水) 13:00～14:30	県立なぎ看護学校 新宮市蜂伏20-39 TEL(0735) 31-8797

県立高等看護学院・県立なぎ看護学校以外の看護学生さん、ブランクのある方、お仕事を探している方、右の二次元コードよりお申込みください。

[問い合わせ先] 和歌山県 医務課 TEL 073-441-2605
和歌山県ナースセンター TEL 073-483-0234



ナースのお仕事相談

開催場所	開催日・時間	予約電話番号
ハローワーク和歌山 和歌山市美園町5丁目4-7	1月10・24日、2月14・28日、3月14・28日 毎月第2・4金曜日 13:30～15:30	073-483-0234・073-483-1005 和歌山県ナースセンター
ハローワーク田辺 田辺市朝日ヶ丘24-6	1月14・28日、2月25日、3月11・25日 毎月第2・4火曜日 13:30～15:30	0739-22-2626 ①番窓口 職業相談部門



相談室

*看護研修センター(海南市南赤坂17番地)のナースセンターもご利用ください。平日(祝日除く)9-17時
*ナースセンターに求人求職のご相談の際はお電話でご一報いただければ幸いです。

届出制度登録ご案内

看護師等の届出サイト

とどほるん



看護職のための無料職業紹介

eナースセンター



学び直し研修

お電話でお申し込みください。平日9時から17時(祝祭日除く)
和歌山県ナースセンター電話 073-483-0234・073-483-1005

	研修・コース名	開催時期	内容
①	eラーニング	随時	学研eラーニングを利用して自宅などで視聴する
②	看護技術演習	第1・3火曜日10時から12時(日程相談可能)	シミュレーターでの演習

育児・介護休業法の改正 2025年4月から段階的に施行

詳細はこちら →



① 子の看護休暇の見直し

対象となる子の範囲の拡大	小学校就学の始期に達するまで → 小学校3年生終了まで
取得事由の拡大	①病気・けが ②予防接種・健康診断 → ①病気・怪我 ②予防接種・健康診断 ③感染症に伴う学級閉鎖等 ④入園(入学)式、卒園式 (除外できる労働者) ①週の所定労働日数が2日以下 } ①週の所定労働日数2日以下 ②継続雇用期間6カ月未満 } *②を撤廃
名称変更	子の看護休暇 → 子の看護 等 休暇

② 所定外労働の制限(残業免除)の対象拡大

請求可能となる労働者の範囲の拡大	3歳未満の子を養育する労働者 → 小学校就学前 の子を養育する労働者
------------------	---

第52回

プレゼント!



「クッション」

または

「クオカード」

1,000円分

5名様に!

どちらか1つ

当たります!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、令和7年2月28日(金)までにお送りください。(消印有効・1人1通のみ) 抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

QRコードからも応募できます▶



宛先 〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「1月号プレゼント」係

プレゼント 応募者の声

- 取り組みの内容だけでなく毎回認定看護師や医師など一つのテーマに関する専門的な人によるコラムとか載せてくれた方が会報が読みたくなります。